

開催日時	令和6年12月9日（月） 19時00分～21時00分
開催場所	WEB
出席者	宇仁菅、坂田、松本、山端、小東、廣田、和田、志鷹、河野
欠席者	運営委員なし
記録者	宇仁菅
議題1	新人発表について
<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新人発表会場変更 当初申し込んでいた会場（小野商工会議所）から西脇市市役所内ホールに変更。 →HPTAにて変更は案内連絡済 ・発表形式 基本的に対面での発表とする。勤務や諸事情に伴う場合はZOOM参加（聴講者） ・会場 空調、照明は事務所一括管理。照明はダウンライト系。都合によりマイクの貸出できないため検討（会場はマイクなしでも可能とも思われる） ・運営プログラム 午前：症例検討（ZOOM）公募中、午後：新人発表 夕方に懇親会を開催したい（任意） 	
<p>【決定事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会場 ・発表形式 ・運営プログラム →症例検討発表者公募中。発表者3名予定が満たない場合も新人発表は午後とする。 ・懇親会は開催する方向で 	
議題2	次年度事業予定

【内容】

・研修会

令和6年度、講師を大阪府の理学療法士、日程を近くに設定、基礎、実践に分けたこともあり、他府県会員の参加が多数あり結果、参加費の収益が得られた。

次年度に関してどう進めていくか（前回の支部審議会での意見を共有）

他支部（一部）は、講師を固定化している、研修部とも兼ね合いが必要（日程やカリキュラムコード等）

研修会の開催は兵庫県では多く、日程調整等の兼ね合いが難しいこともある

現状研修会2回を開催しているが、例として研修会1回、過去のように支部勉強会等を行ってもいいのでは、その開催がコミュニティに繋がるのでは。

→研修会となれば講師選定が難しい

→支部勉強会は顔の見える関係でよいが、参加の顔触れはいつも同じ傾向

→ターゲットとなる年代をどうするか。若手なら実技？ 誰が講師？

・勉強会は支部の独自性や繋がりにもなる

がんリハで病院（緩和）での関わりや在宅での関わり、終末期を知りたい
装具選定、外すタイミング等

動作分析や評価

・急性期から在宅まで地域で繋がった症例の報告もいいのかも
等の意見。

【決定事項】

・研修会 1回 （全県対象）

・支部勉強会 2回 可能であれば対面・ディスカッション形式

次回の予定

日時：

日時・場所

場所：

今後の予定

研修会・勉強会の立案、新人発表・症例検討タイムスケジュール